

東京都環境審議会カーボンハーフ実現に向けた 条例改正のあり方検討会（第3回）

カーボンハーフの実現に向けた実効性ある制度のあり方について
意見表明 補足資料

一般社団法人 ZEH推進協議会

理事・事務局長 荒川 源

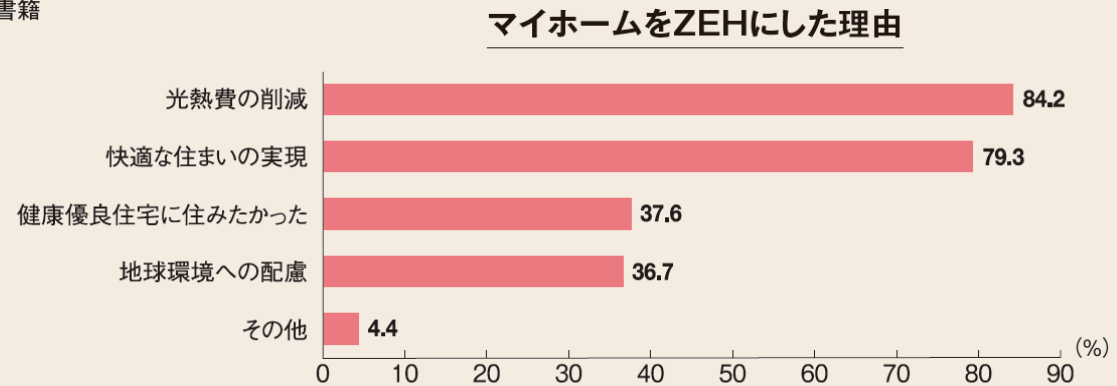
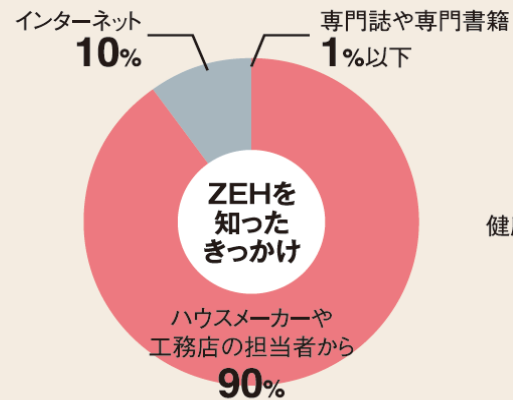
令和4年1月26日

1.ZEHオーナーの声

施主さんに聞く！

Q1 > ZEHを知ったきっかけとマイホームに選んだ理由は？

認知度は依然として低いが「光熱費の削減」「快適な住まいの実現」が突出。
ZEHを知ったキッカケは例年通り住宅事業者からの情報入手が最多

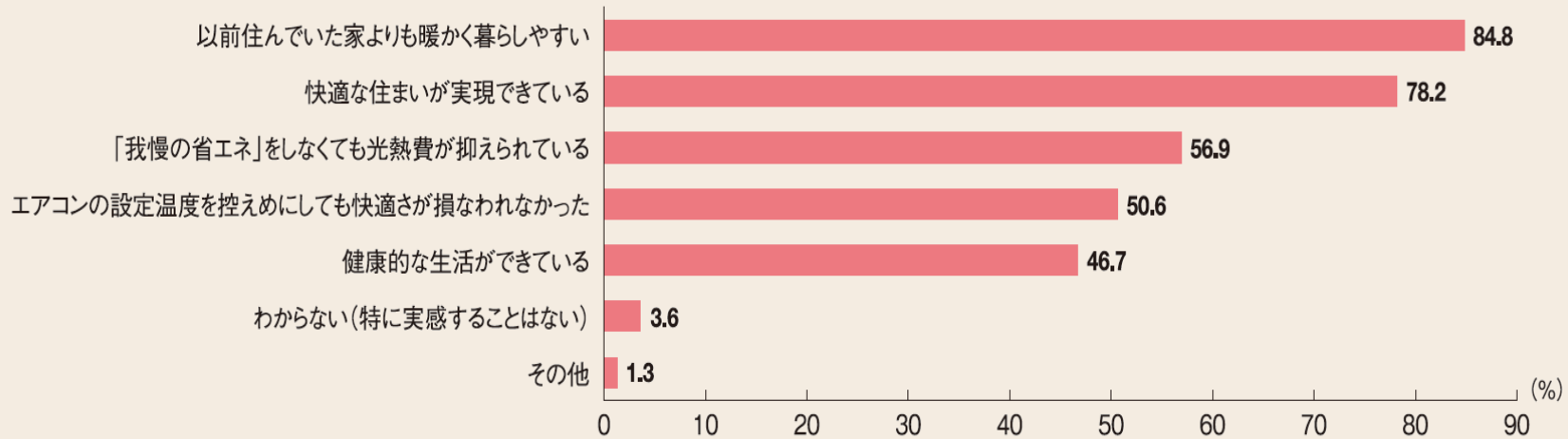


ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 調査発表会2020資料より
月刊スマートハウス作成

施主さんに聞く！

Q2〉 ZEHに住んでみた感想は？

約8割が「快適な住まいが実現できている」「以前よりも暖かく暮らしやすい」と回答。特に断熱性能が高いほどベネフィットを多く感じる結果に

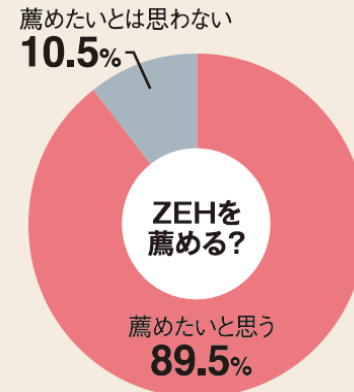
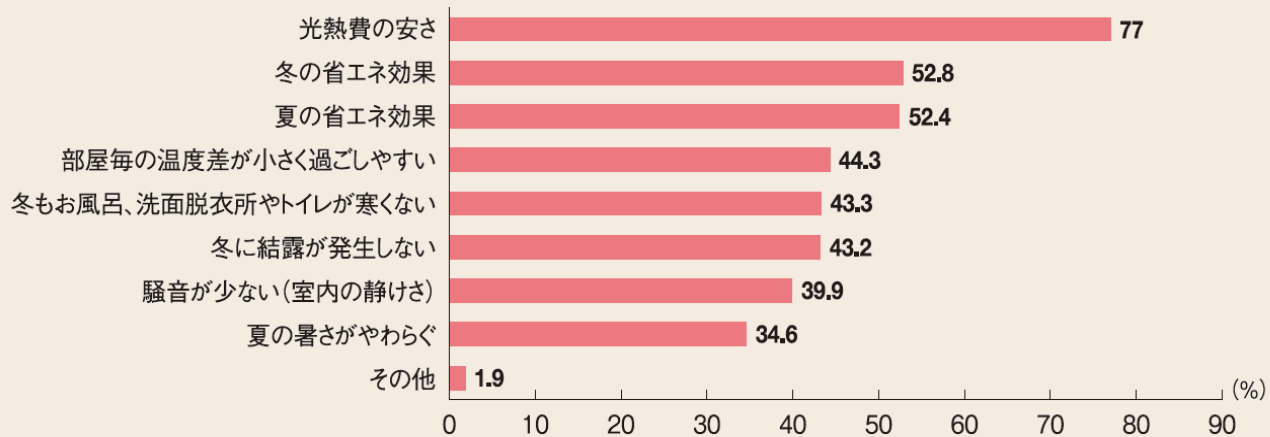


ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 調査発表会2020資料より
月刊スマートハウス作成

施主さんに聞く！

Q3> ZEHのオススメのポイントは？

「光熱費の安さ」が突出。このほか、温熱環境に関わることや高断熱化による防音効果も挙げた



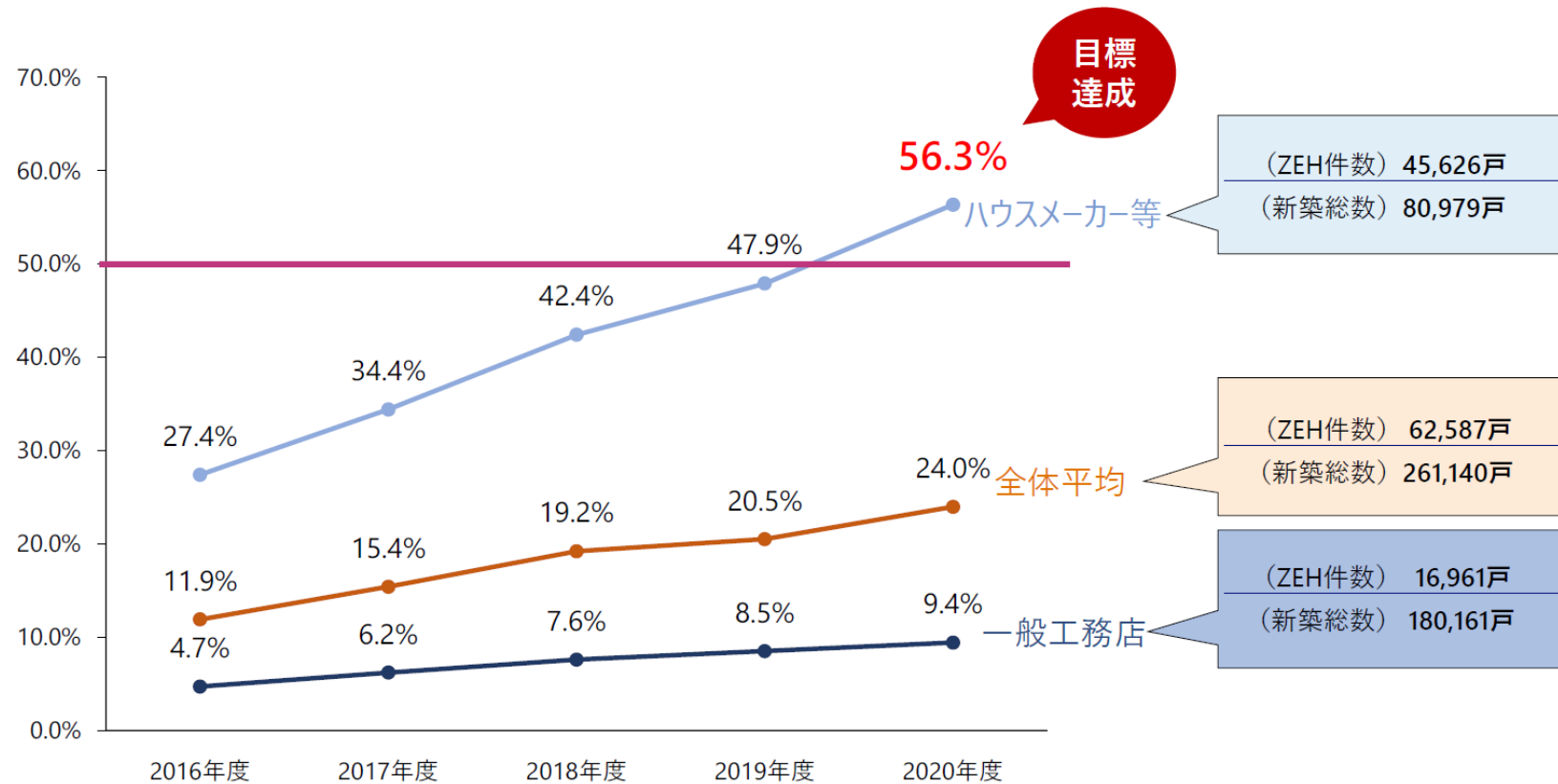
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 調査発表会2020資料より
月刊スマートハウス作成

2.ZEH普及状況

2020年度新築注文戸建住宅のZEH化率（着工統計261,140戸を母数として集計）

ハウスメーカー等による新築注文戸建住宅（持ち家）の2020年度ZEH普及率は56.3%で、「2020年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上でZEHの実現を目指す」とする第5次エネルギー基本計画に示された2020年におけるZEH普及目標は達成されたことが確認できた。

一方で、一般工務店におけるZEH受注実績が少ないことから、全体のZEH受注率は24%程度の水準に留まった。



※ハウスメーカー等は、全国各地に営業拠点を有し、規格住宅を提供しているZEHビルダー/プランナーとする。一般工務店は、ハウスメーカー等以外の事業者とする。

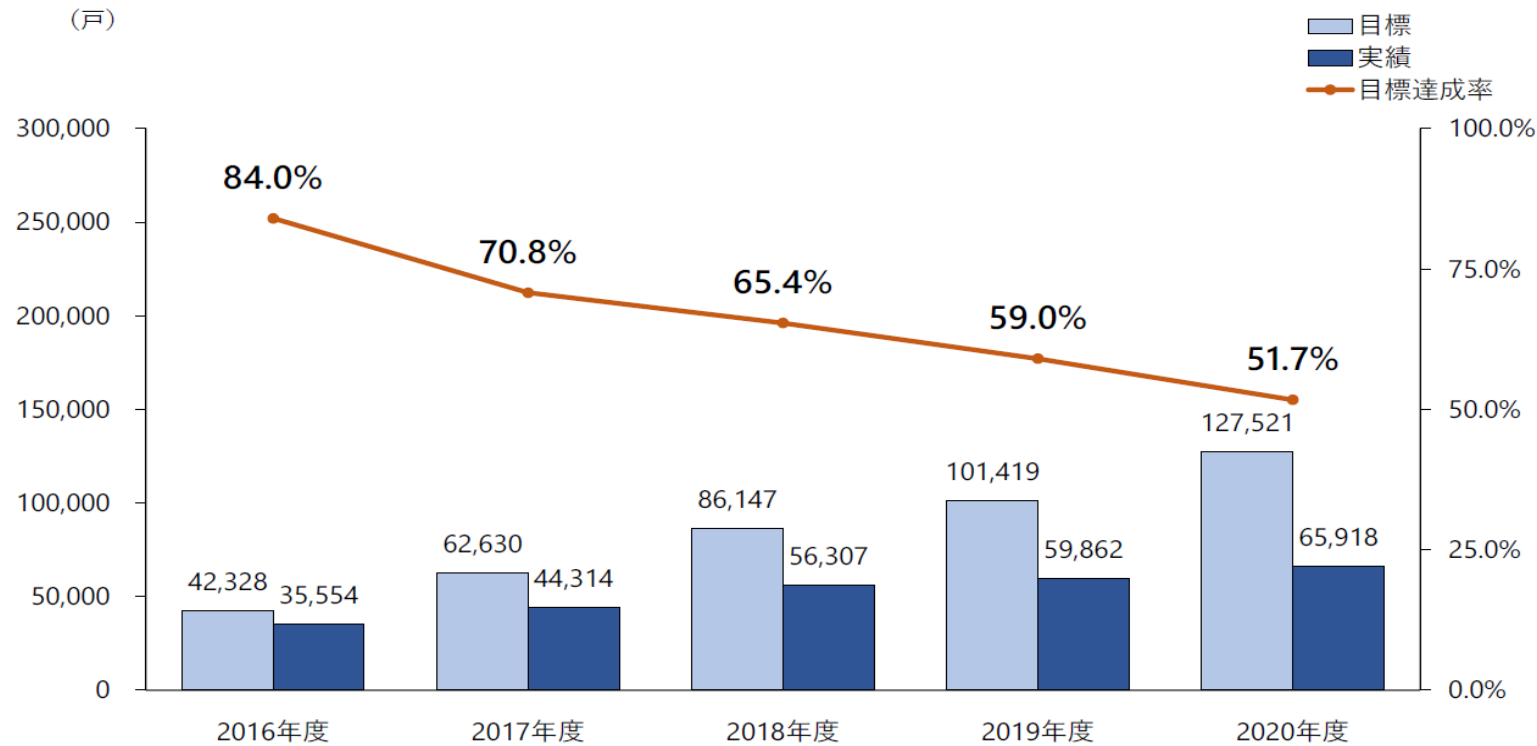
2021年度第1回ZEHロードマップフォローアップ委員会資料
「ZEHビルダー/プランナー2020年度実績報告集計等について」より

ZEHビルダー/プランナーのZEH普及目標（※） 達成率

登録ZEHビルダー/プランナー全社のZEH受注戸数について、目標と実績は以下のとおり。

ZEH受注実績は年々増加する一方で各社のZEH普及目標との差は年々拡大する傾向が確認できる。

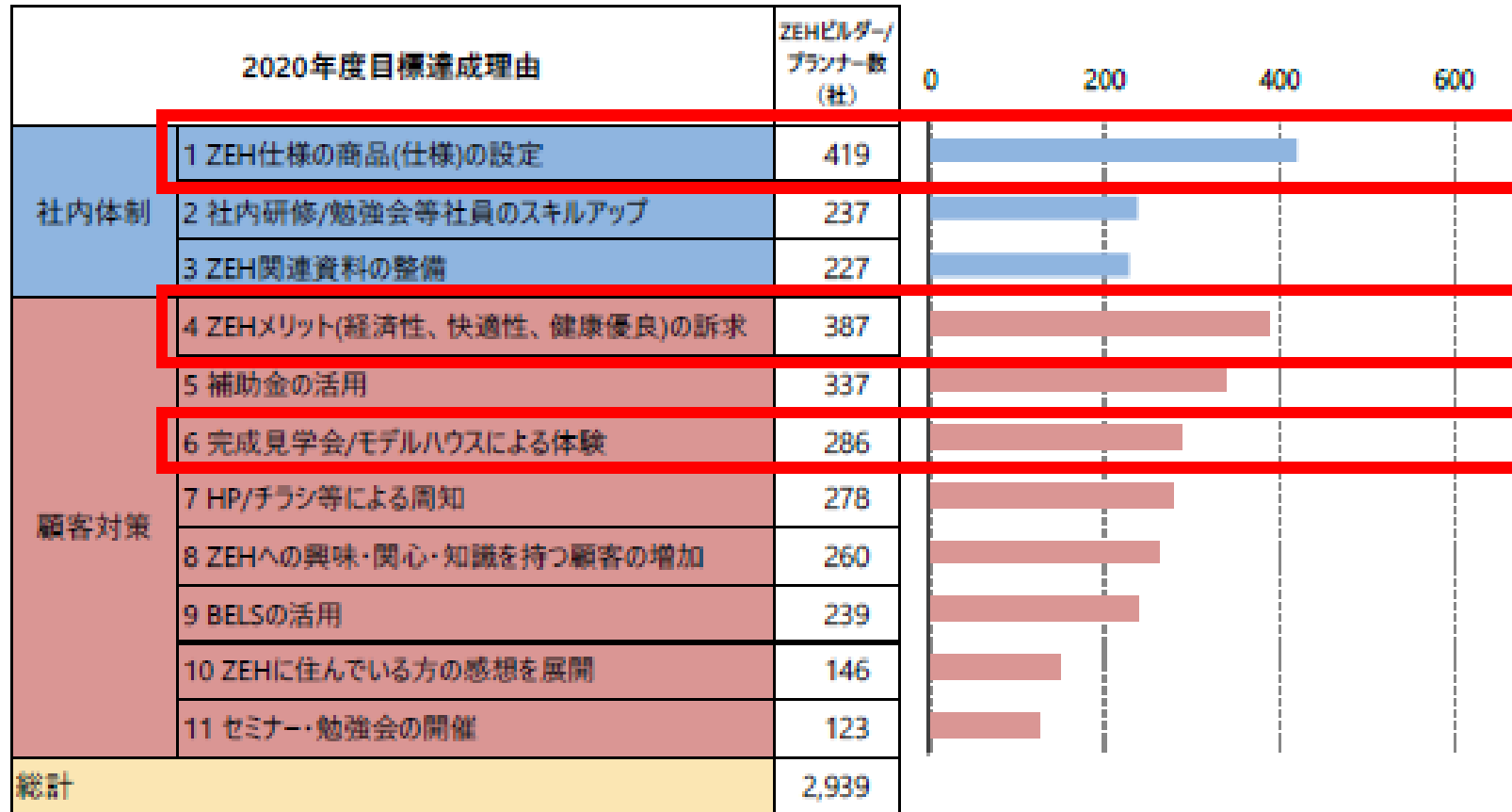
※ZEH普及目標・・・ZEHビルダー/プランナー各社は、各年度における「自社の住宅受注件数に対するZEHの割合の目標値」を公表してきた。



2021年度第1回ZEHロードマップフォローアップ委員会資料
「ZEHビルダー/プランナー2020年度実績報告集計等について」より

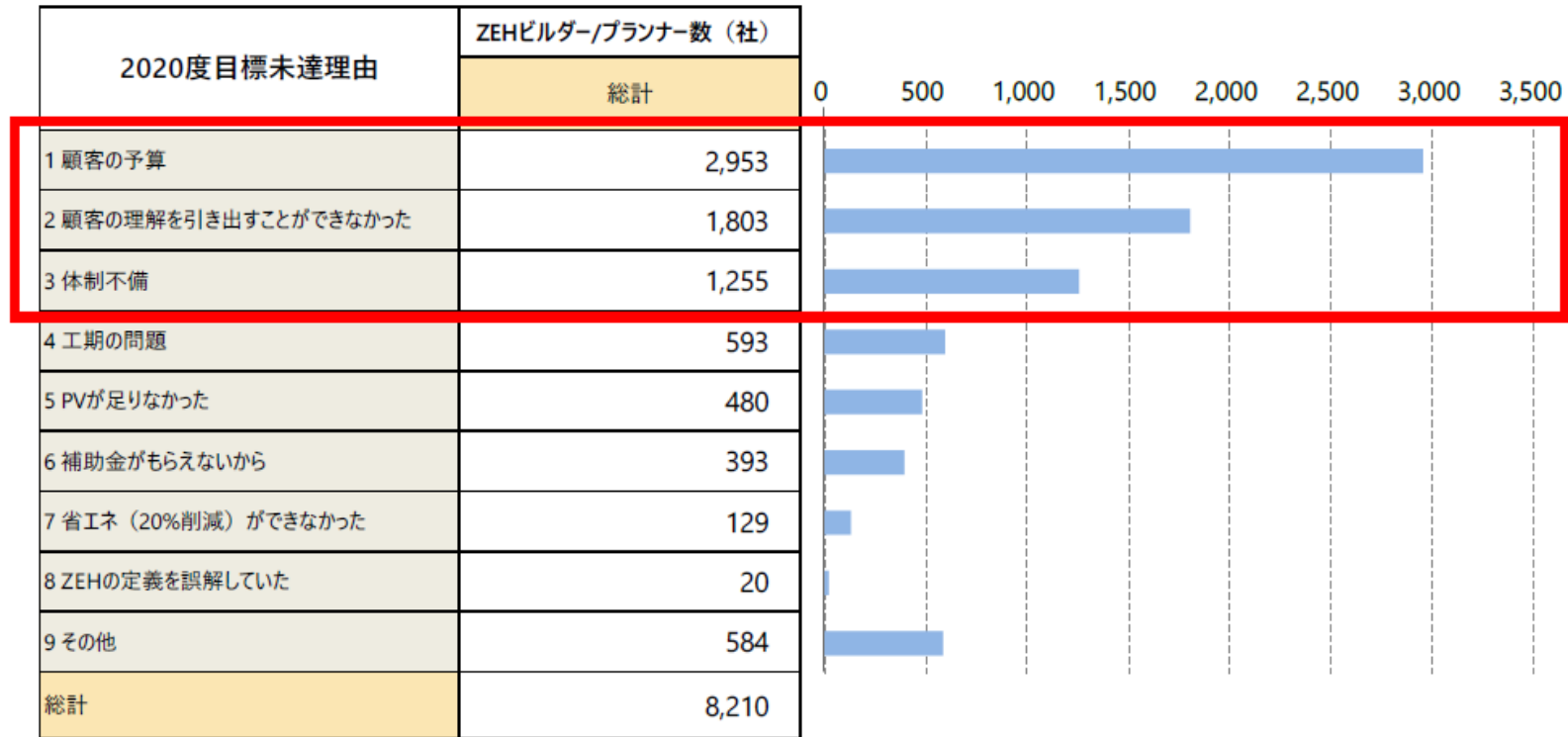
3.ビルダーのZEH達成・未達成理由

ビルダーに聞く、ZEH普及目標の達成理由



2021年 ZEHフォローアップ委員会 資料より

ビルダーに聞く、ZEH普及目標の未達成理由



2021年 ZEHフォローアップ委員会 資料より

REAL VOICE

地域ビルダーや工務店が、ZEHビルダーに登録しない理由



故障に気付かない危険性

愛知県名古屋市／年3棟 工務店

太陽光発電は屋根の上に設置しているため、故障した際には気付かないまま過ごす恐れがある。火事の危険性も孕んでおり、不安点がある。



廃棄方法の確立を待ちたい

神奈川県大和市／年9棟 工務店

耐震性への影響、廃棄方法やその費用が明確になっていない中、提案することはできない。とは言え、全否定しているわけではなく、設計を含めた技術発展や廃棄に関する仕組みなどが確立していくことを期待している。



気候的なハンデがある

富山県布瀬町／年140棟 ビルダー

富山という地域は気候的に特異な地域で、夏は熱く、冬は寒い。特に冬は雪が積もることが多く、太陽光の設置は気候的なハンデや、メンテナンスや維持管理も大変。当社では“設計力”と“アフターメンテナンス”が品質・居心地の基本と考えている。美しいデザインと心地よい空間の両輪で十分満足できる住まいになると考えている。そうなると15年程で故障・劣化という課題を抱える太陽光は“負の遺産”となる可能性もある。

月刊スマートハウス No.69 「私がZEHビルダーにしないワケ」より

4.まとめ

- ZEH普及と太陽光発電設置は大きく影響している。



太陽光発電設置が義務化されることで、ビルダーも必ず商品として取り扱いが必要になってくる。商品知識の向上で、一層の太陽光発電普及に寄与することが期待でき、ZEH増加に繋がる。

- ZEHの市場において、まだ防災観点での有益性の認識は薄い。



小容量(2kW程度)の太陽光発電で経済メリットとレジリエンスメリットの普及啓発を。

- 太陽光発電は、屋根や地域、環境によって経済メリットに差が生まれやすい。



設置回避も可能な柔軟な設置・施工マニュアルの策定を要望するとともに、義務化の例外規定の丁寧な検討が必要。

一般社団法人 Z E H 推進協議会
東京都港区港南一丁目9番36号アレア品川13F
TEL : 03-4405-5536 FAX : 03-4333-0845
Mail : arakawa@zeh.or.jp